

令和6年度第27回 契約・調達委員会 審査概要

開催日時 及び場所		令和7年1月10日（金）13:30～13:40 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 公益財団法人日本陸上競技連盟内 会議室3/オンライン													
出席委員		世界陸上財団 事務次長（委員長） 遠松 秀将 弁護士 原澤 敦美 公認会計士 黒石 匡昭 世界陸上財団 総務部長 田近 隆 世界陸上財団 企画部長 白石 正樹 世界陸上財団 財務部長 前山 琢也 世界陸上財団 業務開発部長 小林あかね (敬称略・7名)													
審査案件	案件 1	・東京2025世界陸上サポーター（警備サービス）スポンサーシップ契約 ・東京2025世界陸上競技選手権大会における警備業務委託													
	契約方法	一般競争入札（スポンサーシップ契約と調達契約の同時入札）													
	概要	○スポンサーシップ（企業協賛）を通じた大会の収入確保と、大会の安全な運営を目的として、スポンサーシップ契約者と警備業務委託（調達契約）の受託者を同時に募集し、同一の事業者と契約を締結 ○スポンサーシップ契約の協賛基準額と調達契約の調達基準額を公表した上で、各々について入札を実施し、その入札価格の差が最小となる事業者を優先交渉者（落札候補者）に決定 <table><tr><td>協賛基準額</td><td>100,000,000円（税抜）</td></tr><tr><td>調達基準額</td><td>505,574,000円（税抜）</td></tr></table> <table><tr><th>区分</th><th>契約案件</th><th>概要</th></tr><tr><td>協賛</td><td>スポンサーシップ契約</td><td>【カテゴリー】警備サービス</td></tr><tr><td>調達</td><td>警備業務委託</td><td>➤ 警備運用計画（バージョン3）の策定 ➤ 競技会場等における警備業務の実施</td></tr></table> ○ 契約期間 スポンサーシップ契約：契約締結日から2025年12月21日まで 警備業務委託：契約締結日から2025年10月31日まで	協賛基準額	100,000,000円（税抜）	調達基準額	505,574,000円（税抜）	区分	契約案件	概要	協賛	スポンサーシップ契約	【カテゴリー】警備サービス	調達	警備業務委託	➤ 警備運用計画（バージョン3）の策定 ➤ 競技会場等における警備業務の実施
	協賛基準額	100,000,000円（税抜）													
調達基準額	505,574,000円（税抜）														
区分	契約案件	概要													
協賛	スポンサーシップ契約	【カテゴリー】警備サービス													
調達	警備業務委託	➤ 警備運用計画（バージョン3）の策定 ➤ 競技会場等における警備業務の実施													

審査結果	➤ 案件 1 について、契約締結前（入札経過、契約候補者、契約金額等）の審査を実施し、了承された。
委員の 主な意見 (要旨)	(案件 1 について) ○原澤委員 落札事業者は、下見積時よりも大幅に低い金額で入札をしているが、金額を下げてきた理由は何か。 ⇒ 所管部 現時点の推察であるが、下見積の積算時は、多数の警備員の確保に向けて、近隣の県からも人員を集める必要があるため、警備員の宿泊費や交通費等を計上して他社よりも見積金額が高くなっていた。 入札時の内訳書をみると、こうした警備員の宿泊費等が減額されていたことから、企業努力により金額を下げてきたものと推察している。 ⇒ 原澤委員 落札事業者が今回の入札価格で問題なく契約を履行できるか気になるところである。契約締結後は、適切に契約が履行されているか注視してほしい。 ○黒石委員 入札に参加したのはわずか 2 社のみであったが、これ以外の事業者にも下見積を依頼するなどの対応を行っていたのか。 ⇒ 所管部 下見積は、警備会社 8 社に声をかけたが、6 社に辞退されている。 主な理由は、「スポンサーに興味がない」や「警備員の確保が困難で、大規模イベントに対応できない」などである。 ○黒石委員 本契約は、大手しか対応できないような調達規模なのか。 ⇒ 所管部 業務の履行にあたっては、警備員を 500 人以上集めることが求められる内容になっているため、一定程度の規模を有し、傘下に協力会社を抱えているようなところでないとは応札できない状況であった。